

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会

(平成 27 年 8 月 29・30 日 東北大学医学部保健学科講義室にて開催)

チーム医療への取り組みの一環として、都道府県技師会主体で行う「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」は 3 年計画で昨年より開始され、今年で 2 年目となります。

講習の中身は、我々が取り組むべきチーム医療としての考え方のベースとなる部分の抗議が半分、R-CPC や説明の実際が半分と、実践に向けて準備すべき方向性が見えるように設定されていました。

今回は、いろいろな職種の方々から講義を聞くことができました。看護部長さんからは、目にみえないおもてなしの心を基本とした接遇について、臨床心理士の方からは患者の心理、及びそこから派生させた疾患別の身体的、精神的特徴、自己効力という考え方について、病院管理者の先生から、これからの検査技師に求められることについて、さらに、実際に始められている検査技師さんからは準備をした内容、実際にやってみての事例と課題をお聞きすることができました。また、実践として、吉田先生の R-CPC では CKD 及びメタボリックシンドロームを中心に、一番遭遇するだろう疾患を中心とした解説、特に岩手医大の諏訪部先生の結果説明の実際では、ビデオを撮影し、それを見ながらの参加された方々からの評価、ポイントのご指摘、諏訪部先生からの総括があり、大変勉強になりました。

今回の講習会を通して、検査説明、相談という形でのチーム医療への参画は、今後の当り前の一つの業務になっていくことを感じました。それには検査室側では人員不足、人材不足、準備が必要であり、また、経営側からの理解、周囲の他職種と一緒にやっていく環境、ひとつひとつ解決していかなければなりません。しかしながら、ニーズがあれば、医療人として応える使命があるのでしょうか。明日からの業務に一つでもまず取り入れることから始めたいと思います。

医療法人社団仙石病院 阿部眞希

宮城県では今回で約 50 名の修了となりました。3 年で会員の 1 割、約 100 名を目標としているそうですので、是非、次回は多くの会員の方の参加をお薦めします。

企画を担当された学術部長の氏家さんをはじめ、準備担当された方々に厚く御礼申し上げます。